

博物館
Museum
☎ 68-1881

SL写生大会作品展



参加者すべての作品を展示します。

- と き** 6月8日(土)～16日(日)
午前10時～午後5時(初日は午後1時～、最終日は午後3時まで)
- と ころ** ギャラリー
- 表彰式** 6月8日(土) 午後1時30分～



妖怪うちわをつくろう

塗り絵でオリジナルうちわを作ります。

- と き** 6月8日(土)～7月7日(日)
- と ころ** 1階エントランス
- 参加費** 無料 ※申し込み不要



竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひやりん

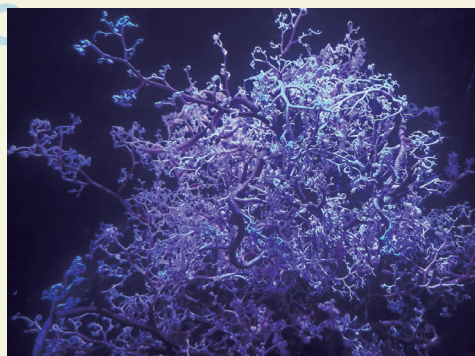


小林 龍二

現在水族館で展示中の「テヅルモズル」は深海出身で、グループとしてはウニやヒトデの仲間です。しかし見た目がかなり異なり、言葉でこの生物を伝えるとしたら「食べ残して水分が無くなった焼きそばをゴミ箱に捨てた感じ」です。名前も見た目もパンチがあります。

私はモノゴコロつく前からずっと水中生物が身近にいたので、極端な事を言うとヒトよりも魚の気持ちの方がわかるくらいの域になってしまっているのですがテヅルモズルという生物は一体何を考えているのかまったくわからない不思議生命体です。

親戚的立場であるウニやヒトデであればなんとなくその気持ちは読めます。水からあげられたウニは無数にあるトゲを動かして「ヤメロ！食うつもりだろ！」と言っていますし、砂地を這うヒトデは「ああ、もっと早く歩いたらなあ」と言っています。しかし、テヅルモズルは、観察しても悟りを開いた僧侶のように「無



一部の特撮ファンからは「ワイアール星人」と呼ばれたりします。

と言っていて、かたくなに心の内を明かさず、干からびた焼きそば状の腕をわずかに動かすだけです。いつ見ても特段嬉しそうでもないです。苦しうでもないようで、長時間見ていると、おまえ、もっと自己主張をしろ！何か喜びや悲しみや要望は無いのか！とやや腹が立ってきます。もしかしたら「なーにをそんなに考えることがあるのだ、おまえの方が自己主張しすぎでみっともない生物だなあ」と言っているのかもしれない。現在、この奇妙な生き物を主役とした専門水槽で特別扱いして展示していますので、ぜひ水槽の前で向き合って心を通わせてみてください。